

Student's Comment 【Part2】

A&Jに留学された生徒様にインタビューにご協力頂きました



Hikariさん (23歳)
留学期間：8週間
コース：Intensive ESL

一年間のワーホリ（カナダ）後、日本での生活をしていましたが、英語使用頻度の低い環境で、英語力低下を感じ、英語力の更なる向上、オーストラリアへのワーホリのための実践的英語習得のために、フィリピン留学の門を叩いた。東南アジアへは旅行も含めても初めての渡航となり、不安が多かった。

1. A&Jを選んだ決め手は？

とにかくキレイな学校に行きたくて。それが最優先事項でした。清掃の回数や、虫が嫌いな私にとっては害虫対策も重要なポイントでした。A&Jは全てを満たしていたようなので、ここに決めました。

2. バギオを留学地として選んだのはなぜですか？

私、海よりも山派なんです。なのでセブは全然興味ありませんでした。バギオは暑くないということでしたし、治安も良いということで決めました。フィリピンだけではなく、東南アジアが初めてだったので、正直、来てみてビックリすることばかりでした。街に信号は無いし(笑)でも2週間くらい経って、でかける機会も増えて、印象がどんどん良くなったのを覚えています。バギオの人々は、カナダ人みたいにとてもフレンドリーというわけではないですが、とても温かみのある人柄な人がほとんどです。何か尋ねてもちゃんと誠意を持って答えてくれました。気候もすごく良くて過ごしやすいです。

3. カリキュラム内容、講師の質には満足できましたか？

私は1日6時間のマンツーマン授業があるコースを選びました。日本人マネージャーさんとのカウンセリングで英語学習に関するお話をし、レベルテストの結果を基にして、これまでの学習歴や、英語の勉強法、これからの具体的な目標などを決めました。授業の科目では、私がやりたかったライティングをしっかりと取り入れられるように、柔軟に対応してくれました。スピーキング2時間、ライティング2時間、リーディング1時間、文法1時間という配分になりました。カナダのワーホリの時、最初は3か月間語学学校にいたんですが、6人のグループクラスで、文法の授業がほとんどで、会話は10%くらいしかやりませんでした。A&Jでは全ての授業がマンツーマン、先生を独り占めできるんです。たとえ文法、ライティング、リーディングのクラスでも会話をする時間が多く、マンツーマンであることがとても嬉しかったです。私は8週間で6人の先生と勉強しましたが、どの先生もとにかくわかりやすく教えてくれます。フィリピン人先生の話す英語は、カナダ人より聞き取りやすかったです。意識的にわかりやすく話してくれていたのかもしれませんが。ネイティブ講師のT.Johnの英語も早くなく、ネイティブだからと言って物怖じせず話すことができました。でもオーストラリア人講師のT.Paulの英語は本当に聞き取りづらかったです(笑)これからオーストラリアに行くので、少し不安です。私の担当先生6人はみんな個性的で、授業は楽しかったです。その中でもT.Jephreyの文法の授業は完璧でした。たくさんの例文を出してくれて。あの授業のノートは私の宝物です。先生の延長ができたのですが、申請を忘れてしまったのが悔しかったです。変わった後の先生たちも素敵だったので、安心でした。先生たちは担当が変わったとしても、補助教材をくれたり、質問に答えてくれたりと、いつも助けてくれたのがとても嬉しかったです。授業中は私7割：先生3割くらいの割合で会話を進めてくれて、喋る量がとても多く、最初の頃は喉がいたくなることがありました。会話の中にある文法的な間違いも、サラッと正してくれて、会話の腰も折られることなくスムーズにやっていたのが、さすがだなと感じました。月一のテストの際、緊張していたのですが、何気なく会話をしている間にスピーキングテストの内容を盛り込んでくれているみたいで驚きました。緊張した私を見てやってくれていたのか、それともいつもそうしているのかはわかりませんが、いつも通りの力を発揮できたと思い、自信ができました。8週間がもうすぐ終わってしましますが、英語力の伸びというか、言いたいことが詰まるようなことがなくなりました。以前は片言で、スムーズに話すことができなかったんですが、この変化はとても大きいです。カナダでは英語を話すことに抵抗がありましたが、こっちに来てそれが一切無くなりました。

4. 授業時間以外はどのように過ごされていましたか？

オプションのクラスやテストは選択できたので、復習が追い付かなかったり、勉強する気分になれなかった時などは出席せずに、気分転換をしに外出したりしていました。自分のペースで学習できたのがとても助かりました。授業以外で出席義務のあるクラスなどがあると、復習が追い付かなくなるので、セミパルタ式は私に合っていたと思います。4週間経ったあたりから、ライティングの課題も始めて、最初は難しかったですが、徐々にポイントを掴めるようになってきて、継続することは大事ななと改めえて感じました。マネージャーに教えてもらったポッドキャストを使ったりリスニング教材で、自分でディクテーションをしたり、パソコンで映画を見たりと、英語に触れる時間を意識的に作って過ごしていました。

5. 学校内の英語使用環境はどうですか？

学校には母国語禁止の厳しいルールがないのですが、私は意識的に日本語を使わないように台湾人や韓国人の友人と一緒にいるようにしました。韓国人の生徒が母国語を多く使う場面を多く見ましたが、日本人、台湾人、その他の国籍の生徒は、自分の意思でEOPを実施できるEOPサインを首から下げて、積極的に英語を使うようにしていたように感じました。



6. 生活面（お部屋・Wifiなど）、食事面には満足できましたか？

部屋でWifiは使えませんでした。共有エリアに行けば問題なく使えましたが、不便には感じませんでした。お部屋の移動をお願いされたのですが、移動した部屋のほうが過ごしやすく、ラッキーでした。私、辛い物が苦手なので、辛さ抜きの食事を用意してもらったりと、対応して頂いて助かりました。朝は全く辛いのですが(笑)種類が豊富で毎食楽しめました。

7. 何か問題が起きた際の学校の対応、スタッフの対応はどうでしたか？

先生たちが帰ったあとでもT.Johnや日本人マネージャーに英語に関する質問ができ、日本語の教材も貸し出しされていたので、助かりました。



8. 週末はどのように過ごしていましたか？

台湾人の友達と街に出かけていました。パブリックマーケットやナイトマーケットはとても活気があって楽しかったです。マーケットで買ったキュウリを使って、みんなで顔パックをしました(笑)マッサージに行ったり、美容院、マツエク、フェイスパックなどの美容系のお店もチャレンジしました。どこに行っても日本に比べると格安できるのでお得です。一人でマインスビューに行き、帰りはSMまでジブニーにも乗って、いい思い出です。最近は教会を訪ねてみたり。バギオの外に出て、海などには行くことはありませんでしたが、もっと旅行すれば良かったなとちょっと後悔してます。

9. この学校はどんな人に向いていますか？

小さな学校なのでみんな知り合いという感じで、先生と生徒もとても仲良しなアットホームな学校なので、こじんまりとした雰囲気の好きな人、たくさん人のいない環境がいい人、素敵な先生に英語を習いたい人におすすめしたいです。

10. 最後にこの学校を検討している人への一言アドバイスをお願いします。

学校に迷ってる人もいると思いますが、フィリピンに留学することそのものを迷っている人も多いと思います。私もそのうちの人でした。でも、やはり行ってみないとわからないことだらけです。行く前からフィリピンだから、と毛嫌いするのは違って、行く前から決めつけなくて欲しいと言いたいです。私がカナダにいた時も、すべてがよいとは思えませんでした。周りがなんと言おうが、自分が行きたいと思ったら行くべきだし、この学校なら間違いありません。留学の先にある大きな経験もできます。とりあえず行動を起こしてください。

～編集後記～

Hikariさんはワーホリの経験もあってか、日常会話は問題の無いレベルからのスタートでした。そこから文法精度を上げたり、毎日のライティングの課題を通して説得力を持たせる文章を作る訓練をしたりと、英語力に磨きをかけていました。日本人とよりも台湾人の生徒さんといつも一緒に過ごされていて、積極的に英語を使う環境に身を置いていたのも印象的でした。オーストラリアでのワーホリでは是非シティジョブに就いていただきたいです。

